

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターニュース

伊豆沼の植樹活動

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
 (事務局)
 〒989-5504
 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
 Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
 ホームページ: <http://izunuma.org/>
 E-mail : izunuma@circus.ocn.ne.jp



◆ニシキギ植栽

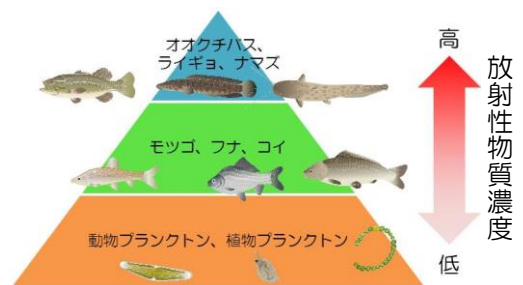
6月6日に、玉沢小学校の5・6年生と東北電力の皆さんが県サンクチュアリセンター前のマイロードの植込みに、ニシキギの苗木60本を植栽しました。

植栽後は、水辺の生き物の観察を楽しみました。



◆伊豆沼・内沼における生物の放射性物質の蓄積

伊豆沼・内沼の生物の放射性物質の蓄積状況を調べました。原発事故前のサンプルでは、放射性物質(セシウム)は検出されていませんでしたが、原発事故以降検出されるようになりました。以下、主な生物の放射性物質の濃度です。



伊豆沼・内沼における主な生物の放射性物質の濃度(ゲルマニウム半導体検出器による)

	採取日	計測部位	サンプル数	平均体長(cm)	セシウム134、137合計値(Bq/kg)			備考
					平均値	最小値	最大値	
ライギョ	2012/5/27	筋肉	5	52.9	163.8	73	420	
ナマズ	2012/5/20	筋肉	5	55	125.4	85	197	
オオクチバス	2013/3/13	筋肉	5	34.2	78.3	51	154	
ウナギ	2012/10/21	筋肉	3	53.7	35.4	25.2	42	
コイ	2012/11/7	筋肉	4	43.1	39.3	35	57	
フナ	2012/11/7	筋肉	5	27.3	38.4	26	51	
モツゴ	2012/11/27	筋肉	1(30尾)	6.7	17.2	-	-	検査には一定の重量が必要のため、30尾をまとめた
レンコン	2013/3/8	-	1	-	<10	-	-	

◆ 伊豆沼・内沼いきもの図鑑

オオセスジイトトンボ
Paracercion hieroglyphicum



小型のイトトンボを食べているようです

全長 : 39~49 mm
見られる時期 : 5月下旬~9月
見られる場所 : 沼周辺のため池
食べ物 : 小型のイトトンボなど



実は伊豆沼はトンボ類の宝庫です。これまでに40種以上のトンボ類が確認されていて、夏の水際では、イトトンボの仲間やチョウトンボが飛び交っています。中でも珍しい種の一つがオオセスジイトトンボ *Paracercion plagiosum*です。イトトンボの中でも大きい種で、メスはエメラルドグリーン、オスはスカイブルーと派手なのでよく目立ちます。草むらの中で、す〜っと、派手で大きめのイトトンボが飛んでいたなら、間違いなくオオセスジイトトンボです。つい捕まえたくなくなってしまうかもしれませんが、このトンボ、日本各地で減少していて、絶滅が心配されている種なのです。あまり逃げませんので、捕まえずにじっと観察してみてください。運が良ければ小さなイトトンボを捕まえるシーンも見られます。こんな珍しいトンボが飛び交う水辺をいつまでも大事にしていきたいですね。

◆ イベント案内

夏休みは伊豆沼・内沼に来ていろんな生き物とふれあいましょ！

第2・3回伊豆沼・内沼自然体験講座



こんちゅうさいしゅう ひょうほんづく
「昆虫採集と標本作り」

日時 : 7月19日 (土) 10:00~15:00
8月2日 (土) 10:00~15:00

沼のまわりで昆虫を採集し、標本を作成します。
夏休みの自由研究にいかがですか？

第4回伊豆沼・内沼自然体験講座



みずべいものさいしゅう かんさつかい
「水辺の生き物採集と観察会」

日時 : 8月9日 (土) 10:00~13:00

夏になると沼一面にピンク色のハスの花が咲きます。
ハスの花の香りを楽しみながら、生き物を探そう！